



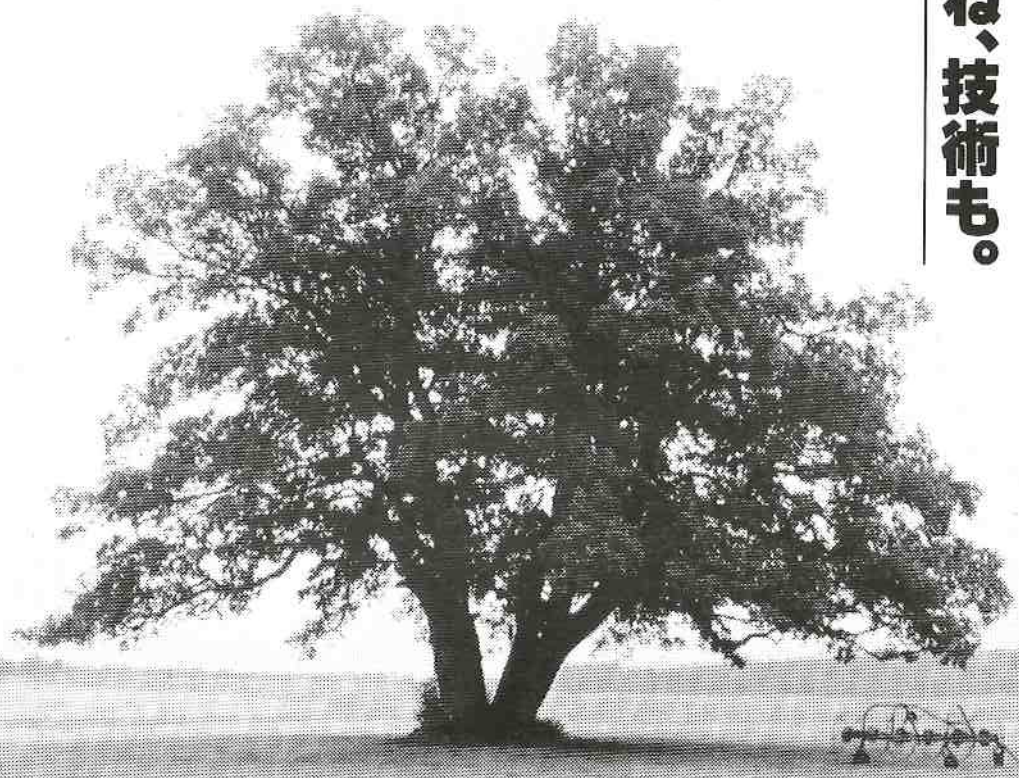
技術にこころをこめて75年



HITACHI

シンプルがいいね、技術も。

近年、技術はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。



技術との自由な対話

Interface

株式会社 日立製作所

宣伝部 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

第38回全日本総合選手権大会

大波乱の大会、男女とも初優勝

(男子)本田技研鈴鹿 (女子)東京女子体育大



第38回全日本総合選手権大会は、12月25日から28日までの4日間、前半の2日間を駒沢体育館と駒沢屋内球技場、そして後半の2日間を青山学院記念館で開催した。

今年度から参加チーム数を若干減らし、男子16、女子14のチームが熱戦を展開、学生チームの活躍などで盛り上げた。

男子は、今大会でV8を目指す湧永製菓が順調に勝ち進み、決勝に進出。一方、復活を目指す大同特殊鋼は1回戦で大阪体育大の前に敗退、1年間のブランクの大きさを感じさせた。大阪体育大は、つづく2回戦でも大崎電気を終始苦しみ、惜しくも1点差で敗れたものの、最近低迷をつづける学生チームの中で気を吐いた。結局、決勝で湧永と対戦することになったのは、11月に終了した日本リーグで見事逆転優勝を飾った本田技研鈴鹿であった。

決勝戦は、初優勝を目指す本田の気迫が立ち上がりから湧永を上回り、3点を連取、湧永もディフェンスを建て直してよく反撃したが、遂にリードを奪うことが出来ず、V8の夢は絶たれた。本田技研鈴鹿は、これでリーグにつづいて総合も初優勝を飾り二冠を獲得した。

女子は波乱の連続だった。まず、東京女子体育大が、韓国からの二選手の活躍などでインカレにつづいて好調な動きを見せ、大和銀行、大崎電気と撃破、準決勝では前年の覇者でリーグ優勝の立石電機山鹿を圧倒、堂々たる勝ちっぷりで決勝に進出した。

一方のブロックからは、リーグ二部のシャトレレーゼが大健闘、ブラザー工業、ジャスコ、日本ビクターといずれもリーグの上位チームを倒して決勝に進んだ。

決勝戦は、女子の試合には珍しい点の取り合いとなった。李京姫を中心としたセットプレーで得点するシャトレレーゼ、速攻と早いボール回しからサイドで得点する東女体大の打撃戦。結局、攻撃力に一步勝る東女体大が、一時二人退場というピンチを切り抜け、終盤力尽きたシャトレレーゼを一気に突き放した。シャトレレーゼは、李京姫一人に頼りすぎ、攻撃の幅がなくなってしまった。

東女体大の優勝は、全日本総合史上初の学生チームの優勝となった。

男子 本田技研鈴鹿、湧永のV8を阻む

1回戦

湧永製薬 37 (2215-11) 15 自衛隊員

〔戦評〕 緒戦のためか、前年度優勝の湧永もコンビネーションが合わず、玉村の単独ゲットでゲームをリードしていたが、10分過ぎからマイペースでゲーム展開、一方自衛隊員はポストプレーで攻撃するが、湧永の好守で得点することができず、15-4の大差で前半を終了。

後半、自衛隊員は兎玉のミドルシュートでゲットをするが、速攻、ポストプレーと多彩な攻撃を展開する湧永に歯が立たず、37-15の大差で湧永が勝利をものにした。(福田)

得002003072010
〔自衛隊〕 二堯先賀見田川玉田田光根
〔湧永〕 須山寿塩和西尾池岡利山

G K F P (審・北井) P T (2) 15

〔戦評〕 立ち上がりより栃の葉へ

〔戦評〕 立ち上がりより

〔戦評〕 立ち上がりより

〔戦評〕 立ち上がりより

〔戦評〕 立ち上がりより

〔戦評〕 立ち上がりより

〔戦評〕 立ち上がりより

15のベーム展開で、中村荷役が富士を中心に中盤より追い上げ、15分には8-8と追いつく。しかし、栃の葉の多彩、かつ積極的な攻撃を防ぎ切れず、栃の葉の快勝の一戦であった。(大原)

得0022012022051
〔高末三塚岡福大下小吉長〕

G K F P (審・島田) P T (1) 26

〔戦評〕 力強い1対1の技術から突破口を見つけようとする三陽に

対し、きれのいいフットワークと巧みなコンビネーションの国士館

大は粘り強く食い下がってゲーム

を進行した。

三陽は20分過ぎ5点差をつけ、

このままリードを保つかと思えた

が、あきらめずに国士館は追い上

げて1点差で前半終了。

後半、国士館のプレーに期待さ

得00100327710000
〔藤谷井井藤村沼田川瀬洞〕

G K F P (審・川島) P T (3) 21

〔戦評〕 高木、西山の両エースを

かかえる日新は、立上がりから

リズムに乗った攻撃で着実に得点

を重ねる。対する境港は、日新

のあたりの強いディフェンスをな

かなか崩せず、田中、兎玉らの速

い動きで応戦したが及ばず、日新

が33-20で勝利をものにした。

(後藤)

〔戦評〕 前半、日本リーグを制し

本田が、全日本総合も制する勢

いで確実に速い攻めで加点するも

元ナショナルプレーヤーでかため

た大同クラブも持ち前のチームプ

レーで粘り強く攻め、ベテランの

味を十分に発揮し善戦する。

後半に入ると大同クに疲れが出

はじめ、本田の速攻の前に点差が

開く。終始余裕を持ってゲームを

進めた本田の勝利であったが、最

後までゲームを捨てなかった大同

クの健闘が讃えられる。(川島)

〔戦評〕 前半、両チームともにデ

ィフェンスが悪く、点の取り合い

となった。後半に入っても同様の

展開となったが、シュートを確実

に決めた日大が、残り5分で勝負

を決めた。(菅野)

大阪体大 24 (1410-8) 18 大同特選編

〔戦評〕 立ち上がり大同が高村の

ミドルで先行すれば、すかさず大

体大が楠本のカットインで得点す

る。10分過ぎより大体大は、ポス

ト、スカイプレー、速攻などで加



大阪体大が大健闘、1回戦では大同特殊鋼を倒す

好守にあってなかなか得点しきれなかった。(中本)

張ったが、大崎の打点の高さにと
うするすべもなかった。(不明)

2回戦

大崎電気 35 (1718 | 1112) 23 沖縄教員

湧永製薬 26 (1115 | 1010) 20 栃の葉ク

【戦評】前半、大崎はセットプレ
ー、速攻、サイド、ポストなど多
彩な攻撃で着々と加点した。沖縄
教員も走力を生かし、高良、東江
などの巧いシュートで大崎に食ら
いついていった。

【戦評】堅いディフェンスと幅の
あるオフフェンスで湧永が徐々に引
き離そうとするが、栃の葉クラブ
も武井のロングシュートなどで反

後半、沖縄教員は黒島がよく頑
得0 8104000244
【沖縄】 島城垣良原城里揚良江
【新】 黒宮新高上大新喜高東

【栃の葉】 橋下田 山本西口井嘉井開
【高岩川】 岸 中山小滝武名薄新

【戦評】前半、大体大は早いパス
回しからポストにボールを集め4
1とリードしたが、大崎も確実
なパスワークから宮下の高打点か
らのシュートで加点。後半に入っ
てもシューティングゲームが続き、残り
5分1点差の好ゲームを展開、大
得0 00752304012
【大体大】 谷 上本村村塚辺口田岡基
【大崎】 村楠福山大渡谷真西梅

【戦評】開始から日新はGKの好
守と三陽のシュートミスに乗じて
速攻と安定した攻撃で着実に加点
する。対する三陽は、20分過ぎ、
日新の退場を機に2点差まで追い
上げるが、西山の強烈なシュート
に差をつけられ前半を終了。

後半に入っても確実に得点する
日新に対し、三陽も必死に追いつ
がったが、連続得点できず、前半
の差がそのまま勝敗に結びついた。
(北井)

後半、速攻とフォーメーション
プレーで湧永がゲームの流れをつ
かみそのまま押し切った。
栃の葉クの健闘が光った試合で
あった。(菅野)

後半に入った、日大も本田のペ
ースをつかみ、ディフェンスもよ
くなり同等の試合を شدしたが、
それも立ち上がり10分位まで、15
分過ぎになると日大にパスミス、
シュートミスが続き、試合巧者の
本田技研の一方的な試合ペースで
終了した。(高崎)

得0	15303540000	21
【三陽】	関 家口田川口方藤村原	
【宇田】	清田瓜砂山実安河吉	
GK		
FP	(審・北山 原山)	
PT		(0)
得0	0027421405000	25
【新川田】	山井斐野田瀬木中田	
【日西森】	西中藤日堀一高野池	
【本田技研】	鈴 鹿 31 (1714 9) 17 日 大	
FP	(審・大北 原山)	
PT		(4)

得0	001431554242	31
【本大】	畑本松野木上藤屋山口本本	
【大崎】	大橋三田立尾内栗吉田坂山	
GK		
FP	(審・菅野 田野)	
PT		(9)
得0	0000330512003	17
【日大】	明田川坂見平木数宮原辺田	
【本大】	木富堀白吉野春大雨小渡山	
GK		
FP	(審・北井 上久保)	
PT		(1)



中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光
本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39
電話 東京 (03) 451-4161(代)

創業69年

体大GK徐の好守がこの試合を一段と盛り上げた。(北山)

準決勝

湧永製薬 30 (1218 | 6 | 9) 15日新製鋼

〔戦評〕ともに日本リーグ同士で激しい得点争いが期待された。

湧永は生駒、玉村が豪快にロングシュートで先手をとるのに対し日新は湧永の激しいディフェンスを打ち崩すことができず、時間とともに点差がついた。

8連覇を目指す湧永の闘志がそのままプレーにあらわれた試合であった。(北井)

得02221314100030
新川田 山斐井野田本瀬木中
〔西森 西甲藤日堀藤一高野〕

G K F P (審・井上) P T (1) 15

〔城藤駒村本賀川取本田原巻〕
湧0078240322112

本田技研 25 (1213 | 6 | 14) 20大崎電気

〔戦評〕日本リーグ加盟チーム同士の準決勝。両チームとも特に緊張感もなく、持ち味の良いプレーが随所にあり、走、跳、投の力強い男子特有の攻防戦で、前半は大崎電気が1点リード。

後半開始直後、本田技研が同点とし、両チーム一進一退の緊迫し

たゲーム展開であり、大崎のディフェンスが乱れたところを本田がスカイプレーなどで次第にリズムに乗り、GKの好守などで助けながら勝利を得た。(井上)

000010110014003
崎部内岡田藤田本迫田野田下和

〔大岡矢松武首中山越皆星大宮〕

G K F P (審・北久保) P T (5) 20

〔畑本松野木上藤屋山口本〕
得00000323333650
本大橋三田立尾内栗吉田山平

決勝

本田技研 24 (1311 | 12 | 9) 21湧永製薬

〔戦評〕本田はスタートダッシュ

良く、立木のミドル、尾上の速攻山本のサイドなどで多彩に攻めたが、湧永がディフェンスを建て直し、本田を8分間無得点に抑さえ

こみ、玉村の速攻などで盛り返したが、前半の貧攻がたり、退場の多くなった本田を追い切れず、

得0091112133300
〔城藤駒村本賀川取本田原巻〕

〔大井生玉藤志中荷山奥檜酒〕

G K F P (審・北久保) P T (3) 21

〔畑本木松野木上藤屋山口本〕
得00001042344334
本大橋三田立尾内栗吉田山



V8を狙った湧永だが、惜しくも決勝で敗れた

2点差で前半を折り返す。

後半に入り10分までに同点とした湧永だったが、本田のミドル、速攻を押さえきれず、一度もリードを奪えず、本田の初優勝、胴上げを見るに至った。(坂井)

〔本田技研鈴鹿・喜井監督〕

感激の初優勝、胴上げを終えてから記者インタビューを受け、その興奮がさめやらぬ表情で語ってくれた。

「やはり11月に終った日本リーグでの初優勝が大きな自信になった」

といます。準決勝、決勝とGKがよく当たって、ディフェンス全体が良かったのが勝因でしょうか。攻撃面でも決勝は多彩な展開ができましたし、良かったと思います。これで一昨年のお返しもできました。」

一昨年の総合の準決勝で湧永と対戦、後半終了間際までリードしながら、一つのミスから逆転を許し無念の涙を飲んだ本田技研が、その湧永の8連覇を阻止、見事初優勝を飾った。

New & Next
brother



昨日見た夢、残しておきたいね。

昨日見たのはハッキリと覚える。ハートがボカボカとあったかくなるような夢だった。それをソーイングして布に残した。とてもかわいく仕上がった、布絵本。創イングMY STORY。



COMPAL-OXII

ブラザー工業株式会社

女子 東女体大、学生チーム初の王座に

1 回戦

東京重機23 [1013-156] 21日 体大

〔戦評〕前半20分頃まで得点は一進一退で6-6。しかし内容は、互いにハンドリングのミス、パスミスなど寒さのせいカイジーなミスが多かった。20分を過ぎる頃から日体大のシュートは入らなくなり、重機が7点を連取、一気に優位に立った。

後半立ち上がり、日体大は重機のミスからの速攻、ポストなどで4連取し反撃に出たが、ミスから逆に速攻をくらい追いつけない。重機もセットでは攻めあぐみが目立ったが、相手ミスを速攻に結びつけ逃げ切った。(森)

得0031533330030
 大室 野野米原沼澤口来田
 体大 森
 〔安〕大今堀梅江黒長山市新

G K F P (審・岡本) (水) P T
 〔機〕井角崎川藤田井原谷林田
 〔重〕石大山市佐嶋藤伊古大矢
 得002330015720

東女体大23 [1112-1111] 22日 大和銀行
 〔戦評〕インカレ優勝の東女体大

が日本リーグ6位の大和銀行に挑んだ試合は、最後の最後まで白熱した好ゲームとなり、久々に全日本総会で学生が勝利を取めた。

東女体大は韓国からの留学生、金、柳コンビを軸に鈴木らも得点をコンスタントにあげた。一方大和は、丸田、赤瀬らを中心によくロングを決めたが、前半、東女体大GK野寺にPを4連続阻止されリードを許した。

後半、残り1分30秒、金が大和のパスをインターセプト、柳にロングパスをつないで貴重なリードを奪い勝利を取めた。(清水)

得00842220022220
 和 浜見田西瀬木田谷池川村本
 大 高増丸上赤佐植天小斐上藤

G K F P (審・北久保) (井) P T
 〔体大〕本寺本 野野島木
 〔東女〕山野猫 越谷 金柳 井藤
 得00220003954000

大崎電気35 [1817-14] 5 F C C
 〔戦評〕大崎電気は、相手方のパスミス、シュートミスより速攻にて加点し、さらに多彩な攻撃にてリードする。FCCも必死に防御しながら攻撃に移るが、スピード及びボールテクニクなどで劣り、

大崎電気の一方的なゲーム展開となった。(井上)

得0210000110
 CC 野 波田田川島中田瀬
 FC 上 川松蘇妹宮田山横

G K F P (審・後藤) (田) P T
 〔西〕野野実尾谷井山潤永花玉木
 〔大〕大梅時松塩石冲徳須金李鈴木
 得00272225222850

筑波大20 [137-9] 15日 立橋本
 〔戦評〕速攻に活路を見出そうとする日立、一方、1年生ながらエースアタッカーの磯山にロングを打たせようとする筑波大の戦法は、両チームディフェンスの好守にあつて実を結ばず、前半は9-7と日立リードのロースコアのゲーム様相となった。

後半に入ると筑波大はディフェンスを高くし、積極的に轉換し、得0022222330001
 立 生本打田水沢田岸原口毛苗
 〔日〕葛岡手前清井吉山菅山石尾

G K F P (審・川島) (森) P T
 〔大〕本村田垣野惠華宅川崎田山
 〔波〕杉吉沼福河三中三相勤和磯
 得00300043510004

15分にリードを奪った。そして、そのままリードを広げ、26分には19-14として念願の勝利を手にした。(岡本)

日 本 33 [122-119] 20 愛知教員
 ビクター
 〔戦評〕試合開始から日本ビクターが速攻、セットで得点し、試合のペースをつかんだ。愛知教員も必死に攻防したが、地方に勝るビクターの前に敗れた。

点差は開いたが、両チームの最後まで力一杯の戦いぶりをたたえたい。(半田)

得0033311057700
 知 下宅垣野木田下田保川
 〔愛〕松三稲天鈴武木富大下

G K F P (審・井上) (崎) P T
 〔日〕渡小武長枝下平根太工松永
 得0051053140410
 シャット 23 [1310-10] ブラザー
 レーゼ
 〔戦評〕前半はお互いに慎重な攻めにて終始するも決定打がなく、同点にて折り返す。
 後半に入るとシャットレーゼのポストプレーが決まり出して先行、それをブラザーが追いつくという試合展開となったが、攻撃に幅が

あるシャットレーゼが接戦の末勝利を取めた。(島崎)

得0060533100001
 工 薮本木池山村上田田永倉保
 〔大〕大岡荒小茂中道太久末坂大

G K F P (審・大北) (原) P T
 〔山〕野野辺崎道沢山瀬田田林姫
 〔山〕丸星渡嶋海松春百武平小京
 得000013332500207

2 回戦

立石電機17 [10-2] 10 東京重機
 山 鹿 17 [7-8]

〔戦評〕両チームともセットでの攻防はパターンが単調なのかシュートを読まれてる感じで、得点に結びつかず、守り合いが続いて18分過ぎまで2-0で立石のリード。

その後立石のコンビプレーが合い始め得点が動き始めたが、重機は得意の速攻パターンを押さえられ、初得点が24分。前半は僅か2点で終わった。
 後半に入ると重機が速攻ペースとなり、15分には7-12と追い上げたが、ここへ来て前半無得点に押さえられて立石・野嶋に連続して決められ勝負は決まった。(森)

得0022210010130
機井角崎川藤田井原谷林田
〔重〕石大山市佐嶋藤伊古大矢 星

G K F P (審・福田) P T (0) 10

〔立〕荒岡山近江岩池野山福武中
得000205053020

〔東京体大28〕1513 | 1411 25大崎電気

〔戦評〕大崎・石井、東女体大の金の両エースのロングシュートの打ち合いで、全く互角の状態が始まる。5分過ぎ、東女体大は柳のサイドシュート、北島の速攻からPTを誘い、山田のPTなどで10分までに4点を連取、その後再び互角の展開で、前半を13-11で終了。後半に入り、大崎は李の活躍で終了5分前に1点差まで詰めたが、大切な所でのシュートミスが目立ち、逆に東女体大は1人1人が着実にシュートを決めて快勝した。(島田)

得000073306600
崎西野実尾井山湖永花玉口木
〔大〕大梅時松石冲徳須金李江鈴

G K F P (審・岡本) P T (2) 25

〔本〕本寺本智野部島木淑美井藤
〔東〕山野猫越小長北鈴金柳藤佐
得0010130666600

G K F P (審・清水) P T (3) 28

〔戦評〕前半、日本ビクターはポスト、速攻で先行し、勢いに乗るかに見えたが、6分、14分までノールゴール。その間、筑波大にもチャンスはあったが、相手ディフェンスの速いチェックに合い、崩し切れなかった。15過ぎより、日本ビクターが速攻、ポスト、サイド攻撃などで加点し、試合の主導権を握った。

後半に入り、筑波大もスカイプレ、速攻などで健闘し追い上げるが、前半の7点差をひっくり返すまでには至らなかった。(中本)

得002003234014
波本村田垣野恵華宅川崎田崎
〔筑〕杉吉沼稲河中中三相鋤和磯

G K F P (審・川島) P T (0) 19

〔日〕刃口藤田川條松本藤藤井岡
得002812170300

G K F P (審・森) P T (4) 24

〔戦評〕寺沢の巧いゲームメイクとシュートパスをからませたのポストプレーで攻めるジャスコとエリス李京姫のロングシュートを軸にしたセット攻撃のシャトレレーゼの対戦は、期待を裏切らない好ゲームとなった。

試合はシャトレレーゼが先行、それをジャスコが追いかけるという展開で進み、後半の半ばまで1点を争うクロスゲームとなった。し

〔日〕渡小武長枝下平根太工松永
得002812170300

G K F P (審・島田) P T (3) 22

〔山〕山野辺崎道沢山瀬田田林姫
得00003720000109

G K F P (審・後藤) P T (0) 21

〔山〕丸星渡嶋海松春百武平小
得00003720000109

〔東〕山野猫越小長北鈴金柳藤佐
得0020203031156000

G K F P (審・島田) P T (6) 30



東女体大は連日強敵を倒し快進撃

かし、ここでジャスコに退場が続き、この間にシャトレレーゼは李京姫、海道のロングで差を開く。窮地に立ったジャスコは、李に対してマンツーマンとなり、速攻で猛追したが結局及ばず、22-21でシャトレレーゼが勝利を収めた。(清水)

得0043801100040
村田沢田藤野部岡田西田石

G K F P (審・島田) P T (0) 21

〔深〕木小寺石近鷲服高石寺池常
得00002001142011

G K F P (審・後藤) P T (6) 21

〔立〕荒岡山近江岩池野山福武中
得00022001142011

G K F P (審・島田) P T (6) 21

〔戦評〕スタートから両チーム持ち味を出し合って全く互角の展開で、11-11で前半を終わる。後半、東女体大は立石のディフェンスのスキをつきカットイン、PTなどで6連取の好スタートを切った。

その後立石は、東女体大のポスト、サイド、カットイン、ロングと各選手がゴールを狙う多彩なスピーディーな攻めを止めることができず敗れた。

後半立ち上がりでの「空白」がすべてであった。(森)

〔本〕本寺本智野部島木淑美井藤
〔東〕山野猫越小長北鈴金柳藤佐
得0020203031156000

G K F P (審・島田) P T (6) 30

〔戦評〕スタートから両チーム持ち味を出し合って全く互角の展開で、11-11で前半を終わる。後半、東女体大は立石のディフェンスのスキをつきカットイン、PTなどで6連取の好スタートを切った。

〔滋〕滋養強壯剤
キョーレオピン®

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

キョーレオピン® レオピン®
ファイブ

効能・効果

○滋養強壯 ○虚弱体質 ○肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

〒553 大阪府福島区福島3丁目1番39号
〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号

☎06(458)890140
☎03(293)335160



G K (5) F P (審・川島 森)

〔シャト〕山野 辺崎 道沢 山瀬 田田 林 姫
〔丸星渡嶋海松春百武平小李〕
得0004750500010

〔シャト〕 31 (1318-1011) 21 日 本
レーゼ (戦評) シャトレーゼのポストシュー
トと両チームの特徴を生かしての
攻撃で、5分過ぎまで全く互角の
スタートであったが、シャトレー
ゼのフリースローで李のロングシ
得005515230000
〔日〕 渡小武長枝下平根太工松永

東女体大29 (1415-913) 22 シャト
レーゼ (戦評) 共に決勝初出場でプレッ

決勝

ユーロが決まり、その後の2点連
取でシャトレーゼは主導権をつか
んだ。
ビクターは、武藤、下條のロン
グシュートがシャトレーゼの早い
ディフェンスにつぶされ、ペー
スをつかめず苦戦が続いた。シャ
トレーゼは李の好リードで若い選
手のびのびとプレーをし、今大会
最高のプレーで危ない勝利であ
った。(島田)

昨年1回戦で敗退したシャトレーゼが今大会は大活躍、見事決勝へ

G K (1) F P (審・島 藤)

〔女体〕本寺本智野部島木淑美井藤
〔谷順京〕
〔東〕山野猫越小長北鈴金柳藤佐
得00302064311000
〔東京女子体育大・高野監督〕
「毎日毎日夢のようでした」
今大会、連日実業団の強豪チ

G K (4) F P (審・藤 島)

〔シャト〕丸星渡嶋海松春百武平小李
得0000121112113
〔山野〕山野 辺崎 道沢 山瀬 田田 林 姫
〔丸星渡嶋海松春百武平小李〕
得0000121112113
点は差が開いてしまった。(斎藤)

シャトを感じてはいただろうが、
それを感じさせないスピードある
プレーを展開したが、中心はやは
り韓国選手であった。
立ち上がり、シャトレーゼが李
京姫の連取で先行したが、東女体
大が柳京美の速攻で逆転、松沢の
サイドで再逆転とめまぐるしい点
の取り合い。15分過ぎ、シャト
レーゼの連取で3点リードし、リズ
ムをつかむかに見えたが、25分か
ら東女体大は北島のポスト、柳の
サイドで逆転、前半15-13で東女
体大がリード。
後半5分過ぎ、東女体大は2名
退場の苦境に立たされたが、これ
を互角にしのいだのが大きく、こ
の試合の流れを東女体大に傾け、
シャトレーゼのディフェンスの甘
くなつたのをつき、ポスト、ミド
ルと着実に加点。一方、京姫への
ツメがきつくなり、シャトレーゼ
はチャンスを作れず、終盤一気に
点は差が開いてしまった。(斎藤)

夢のようにとは話していたが、
インカレで優勝してから約1ヶ月、
この総合目指して秘かに期するも
のがあって挑んできたことが監督
の言葉のはしほしにもあった。
「いつも春の総合には、学生チー
ムは、卒業、就職などの問題で万
全で臨めない事が多いのですが、
今回のウチは選手たちもよく頑張
ってくれました。そして、金、柳
の二人の活躍が目立ちましたけど、
彼女たち二人に引張られて他の
選手たちの力も随分アップしたと
思います」

ムを倒すたびに、高野監督は信じ
られないというような表情でイン
タビユーにに応じた。そして、あれ
よあれよという間にトップの座に
ついたのだが……。
「シャトレーゼとは、李京姫選手
を除いたチームとは練習試合をや
つてもほとんど負けたことがない
ので(30試合ぐらいやって1試合
ぐらいかな)、何とかセットから
の攻撃で李選手をおさえれば……
とは思ってました。今日は、シャ
トレーゼさんが李選手にボールを
集める作戦だったのか、他の選手
があまり打つてこなかったのが、
ディフェンス面での指示が徹底で
きました」

make-up tomorrow

メイク・アップ、トウモロウ。

財産の運用、ローンのご利用、不動産や年金、相続・贈与の設計など
お客さまとともに明日を創造するBANK、〈ダイワ〉をご活用ください。

あなたと明日を
大和銀行

■ 第9回女子世界選手権大会Aグループ ■

ソ連が圧倒的強さを見せ優勝

— 日本は14位 —

第9回女子世界選手権大会Aグループは、昨年の12月4日から14日までの11日間、オランダで開催された。

今大会、11年ぶり6回目の出場を果たした日本は、予選リーグでチェコ(2位)、ノルウェー(3位)といった強豪と当たり、ライバル中国とは引き分けたものの1分2敗で13~16位決定リーグへ。しかし、下位リーグとはいえず、アメリカ、フランスを倒して14位となった。

優勝争いはソ連とチェコの対決となったが、今大会圧倒的強さを見せたソ連が快勝、「女王」の座に復帰した。

ロサンゼルス・オリンピックで、2、3位と大健闘を見せた、韓国、中国だが、今大会ヨーロッパ勢の「カベ」は厚く、中国が9位、韓国は11位にとどまった。

「最終順位」
①ソ連
②チェコ
③ノルウェー

- ④東ドイツ
- ⑤ルーマニア
- ⑥ユーゴ
- ⑦西ドイツ
- ⑧ハンガリー
- ⑨中国
- ⑩オランダ
- ⑪韓国
- ⑫オーストラリア
- ⑬ポーランド
- ⑭日本
- ⑮フランス
- ⑯アメリカ

▼予選リーグA組

ユーゴ	25	(1411 105)	15	ポーランド
ソ連	30	(1911 69)	15	オーストリア
ユーゴ	24	(1014 77)	14	オーストリア
ソ連	24	(1113 78)	15	ポーランド

オーストリア	18	(99 510)	15	ポーランド
ソ連	14	(59 77)	14	ユーゴ

ハンガリー	30	(1713 114)	15	アメリカ
東ドイツ	34	(2014 99)	18	オランダ

「順位」①ソ連(2勝1分) ②ユーゴ(2勝1分) ③オーストリア(1勝2敗) ④ポーランド(3敗)

▼予選リーグB組

チェコ	24	(1113 611)	17	日本
ソ連	17	(1713 114)	15	アメリカ

「順位」①東ドイツ(2勝1分) ②ハンガリー(2勝1分) ③オランダ(1勝2敗) ④アメリカ(3敗)

▼予選リーグC組

チェコ	27	(1314 98)	17	中国
ソ連	17	(1713 114)	15	アメリカ

「順位」①東ドイツ(2勝1分) ②ハンガリー(2勝1分) ③オランダ(1勝2敗) ④アメリカ(3敗)

チェコ	33	(1320 108)	18	日本
ソ連	18	(1713 114)	15	アメリカ

「順位」①東ドイツ(2勝1分) ②ハンガリー(2勝1分) ③オランダ(1勝2敗) ④アメリカ(3敗)

東ドイツ	23	(149 34)	7	アメリカ
ハンガリー	21	(1011 136)	19	オランダ
東ドイツ	14	(59 95)	14	ハンガリー
オランダ	18	(612 98)	17	アメリカ

「順位」①東ドイツ(2勝1分) ②ハンガリー(2勝1分) ③オランダ(1勝2敗) ④アメリカ(3敗)

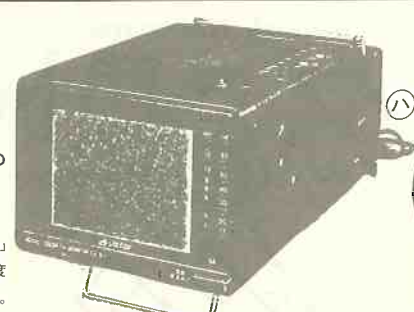
中国	20	(812 514)	19	ノルウェー
ノルウェー	27	(1611 710)	17	チェコ
日本	20	(1010 713)	20	中国

「順位」①東ドイツ(2勝1分) ②ハンガリー(2勝1分) ③オランダ(1勝2敗) ④アメリカ(3敗)

Victor

今日のヒーローは
背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッションブルでスポーティで、感度バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。



ハンドボールごころを満たす

Magazine
6inch

6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格 79,800円 (AC電源付属)

「順位」①ノルウェー(2勝1敗)
②チェコ(2勝1敗)③中国(1勝1分1敗)④日本(1分2敗)
▼予選リーグD組

ルーマニア 25
1510
1012
22 韓 国

西ドイツ 21
1011
710
17 フランス

ルーマニア 22
1210
129
21 西ドイツ

韓 国 27
1413
56
11 フランス

西ドイツ 24
915
610
16 韓 国

ルーマニア 27
1116
35
8 フランス

「順位」①ルーマニア(3勝)②西ドイツ(2勝1敗)③韓国(1勝2敗)④フランス(3敗)
▼準決勝リーグI組

東ドイツ 25
1114
119
20 オーストリア

ソ 連 27
1017
116
17 オランダ

ユーゴ 19
109
108
18 ハンガリー

オランダ 22
139
89
17 オーストリア

ソ 連 19
118
117
18 ハンガリー

東ドイツ 27
1314
107
17 ユーゴ

ユーゴ 25
1213
88
16 オランダ

ソ 連 24
1014
125
17 東ドイツ

ハンガリー 22
1210
109
19 オーストリア

「順位」①ソ連(4勝1分)②東ドイツ(3勝1分1敗)③ユーゴ(3勝1分1敗)④ハンガリー(2勝1分2敗)⑤オランダ(1勝4敗)⑥オーストリア(5敗)

▼準決勝リーグII組
チェコ 19
118
85
13 西ドイツ

ノルウェー 29
1910
97
16 韓 国

ルーマニア 32
1616
1410
24 中 国

チェコ 22
1012
1011
21 ルーマニア

韓 国 19
712
118
19 中 国

ノルウェー 19
109
68
14 西ドイツ

ノルウェー 23
1310
1211
23 ルーマニア

西ドイツ 21
912
119
20 中 国

チェコ 26
1214
1013
23 韓 国

「順位」①チェコ(4勝1敗)②ノルウェー(3勝1分1敗)③ルーマニア(3勝1分1敗)④西ドイツ(2勝3敗)⑤中国(1勝1分3敗)⑥韓国(1分4敗)

▼13、16位決定リーグ
フランス 21
1011
74
11 アメリカ

ポーランド 18
513
115
16 日 本

得点
0 0 1 1 1 3 5 0 1 0 1 4 0
日本 生口 藤村 藤池 上田 実沢 岸嶋
林
葛山 武岩 近小 池前 時山 野
(1) 16

G K F P

ポーランド 19
910
107
17 フランス

日 本 25
1114
128
20 アメリカ

G K F P

日 本 16
97
99
15 フランス

G K F P

得点
0 0 2 1 4 6 0 0 2 3 7
日本 生田 藤村 藤池 上田 実沢 岸嶋
深 小岩 近小 池前 時井 山野
葛山 武岩 近小 池前 時井 山野
0 0 0 1 3 3 1 1 0 0 7 0
16 (4)

G K F P

ポーランド 22
1111
68
14 アメリカ

「順位」⑬ポーランド⑭日本⑮フランス⑯アメリカ

▼11、12位決定戦
フランス 16
51
23
11 アメリカ

韓 国 31
12
01013
3111112
トリア

▼9、10位決定戦
中国 22
1111
710
17 オランダ

▼7・8位決定戦
西ドイツ 18
810
98
17 ハンガリー

▼5・6位決定戦
ルーマニア 28
1210
2293
26 ユーゴ

▼3・4位決定戦
ノルウェー 23
914
118
19 東ドイツ

▼決勝
ソ 連 30
1515
1012
22 チェコ

ソ 連 30

得点
0 0 1 1 3 0 2 0 9 0 3 4
チェコ カババババババババババ
スパーコーバババババババ
ドパーコーバババババババ
ラソパジドオソノシコーバ
フバンスミドイトシコソト
パングランドスアゲデクスマ
G K F P

得点
0 0 1 1 3 3 1 1 0 0 7 0
16 (4)

PT (5) 22

PT (7) 30

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

北國銀行

本店
石川県金沢市下堤町
店舗
石川・富山・福井
東京・大阪・名古屋
京都・127か店

第9回女子世界選手権大会

日本代表選手団の感想文から

日本女子に希望の灯が

● 団長・大野金一

日本が女子世界選手権に参加するのは、予選が「密室試合」となった一九七五年（昭和50）の第6回大会以来11年ぶりのことです。その翌年のモントリオール・オリンピックのあとは、アジア予選で敗退したために、世界大会に出場する機会はありませんでした。

今回は、前回のロサンゼルス・オリンピックにおいて、2、3位を占めた韓国、中国が自動的に出場権を取得していたために、日本がアジア代表として参加したわけですが、それはともかくとして、今回の大会で、日本が韓国、中国は勿論、ヨーロッパ勢の中でも十分やれるという、日本の世界におけるレベルを測る基準を見つめることができたことで、大変意義のあった出場だったと思います。

私は、10年以上も前から、女子にも小さい時から野球を、が持論だったので、奇しくも、今回のチームに、小学校で硬式野球を経験したことのある野嶋選手と、中学時代にソフトボールをやっていたという小池選手がいて、この二人がこの大会の個人得点のベストテンに入るといふ、アタッカー

として十分の働きをしました。

従来、横っ走りばかり多かった攻撃に縦の攻撃が加わり、パスワークも全然異なってくる。韓国、中国も二、三人のアタッカーをもっているのに、アジア三国の条件は同じになったわけで、今回順位決定リーグで韓国と引き分けた中国と予選リーグで日本が引き分けたのもその表われともいえるでしょう。

1年前ソウルで行われた女子ジュニアの世界選手権で、韓国対中国戦を観戦した国際ハンドボール連盟の会長が、「おぼあちゃんハンドボールはソウルで死んだ」と感想をもたりましたが、ヨーロッパのチームは、1、3位に入ったソ連、チェコ、ノルウェー以外は、まだ「おぼあちゃんハンドボール」という感じでした。

タテ、ヨコの大きいヨーロッパのデフエンダーを前に走り回っても、50ccのバイクが七半のオートバイと競争するようなもので、日本がアタッカーを柱に、息の合った連携プレーをナショナルチームの強化合宿で磨き上げ、クイックシュートを打てるようになれば、ヨーロッパに対する攻撃は十分通用するでしょう。また、それ以外勝つ道はありません。

世界選手権大会に参加して

● 監督・井薫

12月14日のファイナル決勝戦は、ソ連とチェコ、それに先立ち7・8位中国、オランダ、3・4位決定戦が東独、ノルウェーで、都合3試合が会場をロツテルダムに移して行なわれました。

奇しくも、日本がCグループで対戦したチェコ、中国、ノルウェーが登場した訳です。

チェコは、今夏来日したユリシノーバーが大活躍しましたが、総合力に優るソ連が終始リードで圧勝。

感動的だったのはノルウェー、東独戦で、3位とオリンピックの出場権をかけての戦いは、単調な攻めの東独と対照的に多彩な攻撃力で、今大会大暴れのノルウェーが、ロング、ポスト、サイド、速攻を確実に得点、GKの好守もあって堂々の3位入賞でした。スタッドには、参加チーム随一、地元のアランダをも上回る応援団が予

選リーグから熱狂的で、勝利決定の瞬間は選手とスタンドが一体になつての喜びで、監督自ら国旗を片手にコート内を乱舞する有様で、それがまた多くの観客の拍手を呼んで、まさに狂喜のシーンでした。

が、東独勢中心の女子ハンドボール界に前回の大会とオリンピックでおきたアジア旋風につぐ快挙で、新らしい夜明けだと西側の関係者はうなずきあっていました。

中国も開催国相手で、前半やや苦しみました。が、順当勝ちでした。さて今大会に参加するにあたり、日本チームの課題は大きく言つて二つあったと思います。第一は、

来年に迫つたオリンピックのアジア予選で対戦する中国との対戦、さらに11年ぶりの世界選手権大会出場での位置づけの確認がそれでした。

まず中国戦。4度にわたる中国リードを選手全員が燃えて追いつき、最後に同点からラストチャンスのマイボールを手にしましたが、僅かに時間が足らず勝ちを逸した内容の試合は、中国に追いつけ、追い越せの悲願が一步前進した事だと思ひます。

2月、7月の遠征で証明された小池、野嶋の両アタッカーは、期待通りの活躍で、大会を通じての得点も二人とも10位前後で、満足度のいくもでした。それと、速攻での得点が計算出来るようになったのも今回の成果で、檜塚コーチ

の指導を選手がやっと理解を深め、展開する力をつけて来た現れで、この点はずっと、より多くの特点につながるよう追求して行くべきだと思ひました。

もうひとつの課題のデフエンダーは、水上コーチの担当ですが、やはり多くの体験が最大の練習法であり、ゲーム中もほとんど守りに関しては水上コーチの指示をうけて、試合を重ねることに思ひきりの良いデフエンダーが数けるようになり、これも明るい方向づけを得たと思ひます。

ただデフエンダーに関しては、国内の審判と世界の部分で明らかに解釈が違っている所があり、特に昨年の総合で話題となつた、段階的適用（ポストプレーヤーのマークの仕方など）を世界の判定に統一しなければ、日本の防御技術はいつまでも上達しないと編成しました。この点、単に世界に行つてみたら、日本と違ひますと、片づけるのではなく、具体的判定の部分でスタッフでまとめて、審判と検討、善処していききたいものです。

ノルウェーのパワーと高さ、多彩さには手を焼き、大差となりましたが、2位になったチェコ、ポランドあたりとも、そんなに大きい差がある訳でもなし、中国、韓国の引き分けや、Cグループ勢の上位入賞を考へる時、幾つもの課題はあるものの、その前途は決

して暗くないと思えました。

大野専務理事に団長として参加して貰い、女子球界の内容をつぶさに見ていただく事も、我々の励みになりましたし、参加した総ての国が、日本を初めとするアジア遠征を希望しており、チャンピオンになったソ連が来春参加するジャパンカップを初め、ヨーロッパの列強が日本のコートにその姿をみせるのが、とても多くなりそうな昨今の現状です。

GK葛生の頑張りや、小兵の池上、近藤もよくやりました。そして前田、岩林がリーダーとして、自覚がやつと本物になって来た、そんな印象を強くした遠征で、全員、事故、怪我のない大会でもあり

りました。出発直前の強化合宿で大崎電気の男子メンバーとのゲームも、効果的であった事を今後に役立てたいと思います。

来る87年、もうとにかく、総ての力を結集して頑張る以外にオリピックへの道はないと思います。ご協力をよろしくお願いします。

世界選手権での速攻展開と現状

●コーチ・櫻塚正一

11年振りの世界大会出場の中、大会内容はますますの大型化の中に速さを加えたチームの活躍が印象深く残っている。前回の大大会では、韓国が早さをほしいままに活躍し、ヨーロッパのチームを驚

かした成績を残し、その流れがロサンゼルスオリンピックまでも続いた。その様な状況から、2年後の世界大会にはアジアの特徴であった早さを総ての国が取り入れ速さに於いて優劣をつけることは出来ないまでの現状だった。

展開内容は、GKから相手ゴール前まで到達するパスの回数は3回以上は多くなく、これ以上のパス回数が入る時は早い防御の帰陣に合い、速攻を成功させることはむずかしい。また、GKのボール出しの正確さも素晴らしい。

さらにGKの中継に入るパスの状況判断の正確さと早さを見逃すことは出来ない。現在のハンドボール展開として、速攻で得点を得ることが試合に勝つための大きな要因となって来ていることを総べてのチームが、認識していることを忘れることは出来ないであろう。

世界大会に参加するまでに、2年のヨーロッパ遠征を行ない速攻展開には次の課題を反省の材料としていた。

本年2月の東独の遠征では、展開は通用したがパス回数が多く、相手ゴール前までの到達が遅いこと。

ソ連遠征では、高さの壁にパスミス、パスカットによって失敗を重ねていた。2つの点を反省課題として大会に臨んだ。パスの回数とクロスを出るだけ少なくし、

対角にボールを展開しながらも縦のラインを強張した練習をくり返し行なった。

大会での展開内容は、次の通りであったと思う。展開途中少しはあったものの、パスミスやボールカットされて展開途中でのミスにつながるものが少なく、最後まで展開を続けることが出来たこと。対角に走るタイミングを覚え、走りにとまどいが少なくなったため、思い切ったパスを通すことが出来るようになったこと、さらにパスを通した後のフォロワーを意識することが出来るようになったこと、

ことなどをあげることが出来、この状況から速攻が成功し、前回と比べ展開にも得点にも進歩を見ることが出来たと思う。

GKの単独ボール出し、中継を行なう者の状況判断と正確性、加えて状況に応じたパスを使い分け、速攻による一層の課題としながらも、速攻によって得点を加えることが出来るようになった努力を評価したい。

さらに速攻によって得点を得る場合には、課題を理解と認識に変えるまで練習をくり返すことは当然のことながら、遅攻によっても少し得点を得ることが出来るようになれば、速攻の成功率はさらに一層良くなると考える。遅攻での得点が取れない場合、どうしても速攻で速攻で得点を取らなければと考えると、この状態が展開に余裕を

もたせず、多くのミスに発展することももある。

ドイツから見た日本チームの課題

●コーチ・水上

17-24 (対チエコ)、20-20 (対中国)、18-33 (対ノルウェー)、16-18 (対ポーランド)、25-20 (対アメリカ)、16-15 (対フランス)、世界選手権における我がチームの成績である。

予選リーグのチエコ、ノルウェー、中国が、それぞれ2位、3位、7位になるといいう、結果として最もレベルの高い予選リーグのグループであった。

世界選手権に参加するにあたっての日本チームのドイツからの課題は、従来から言われていたようにパワー(高さ)に対してどのように対応していくかであった。結果的には、残念ながら今回この課題を解消することは出来なかった。しかしながら、次の2点から課題解消の糸口をつかむことが出来た。

①ポーランド戦で失点を18点におさえることが出来た。パワー(高さ)はあるが、スピードがそれ程ないポーランドに対し、長身者プレイヤーに積極的につめ、フエイントプレーをさせないドイツを行ない、成果を上げることができた。

②中国がノルウェーを破った初

女子もアジアから1代表

ソウル・オリンピック予選

日本協会からの照会に対する国際ハンドボール連盟(IHF)及びアジアハンドボール連盟(AHF)からの公電によると、ソウル・オリンピックから女子が8チームになったのに伴い、従来アジア、アフリカ及びアメリカの3大陸から代表決定戦で1チームを選んでいたのを、3大陸からそれぞれ1チームの出場権が与えられることになった。

昨年10月のIHF総会における執行部原案では、右のうちアジア大陸の代表は開催国・韓国が自動的に兼ねるといいう、オリンピック憲章にも反するような提案になっていたが、総会ではこの原案が通らずペンディングになっていたものである。

戦であり、中国がどのようなタイプのチームであるか、ノルウェーがあまり情報を持っていなかったこともあるが、中国が破った要因として次のことがあげられる。1・2・3プレスディフェンスにより、長身者プレーヤーに常に2人のディフェンダーが積極的につめ、自由にプレー（特にフェイントからのカットインプレー）させなかつた事と、その後のカバーディフェンスが良くトレーニングされていた事である。

この世界選手権で、日本選手は国内のゲームでは見られないような、フリースローライン上まで出てプレッシャーをかけるディフェンスが出来るようになった。しかし、まだマンツーマンの要素が強く、他のプレーヤーとの連携（特にカバリの仕方）が消化化されていないかった。それ故、パワー（高さ）があっても割と止まってプレーするチームには対応することが出来たが、パワー（高さ）があり、スピードのあるコンビネーション攻撃を持つているチームには、まだ対応出来るだけのチームディフェンスが確立されていないと言えらる。

さらに個々には、つめる時の足の出し方と、位置のとおり方、あるいはつめたあとのボール保持プレーヤーのコントロールの仕方などが課題として上げられる。最後に特に気がついた点として、

サイドプレーヤーのシュート力が日本とは比較にならない程であった。フェイントからの突破の仕方、空間の使い方（ボディバランズ）、シュートテクニク、すべてが男子のプレーと同じであった。技術は、女子だけの技術というものは無く、女子は男子の技術にいかにも追いつくかが課題となる。そういう意味では、日本の女子選手（サイドシューターだけでなく）は、男子選手のゲーム、ビデオなどを見て、技術を盗む努力、あるいは体力に問題があれば、体力を養成する努力を積極的に行う必要性を痛感した。何故なら、この事はGKの阻止とも関連するからである。国内のゲームで絶えずそのようなシュートを受けていないと、世界に出てからでは遅いという事である。

印象に残ったゴールキーパー

●山口妙美

今日で、この大会の全試合が終了しました。1位・ソ連、2位・チェコスロバキア、3位・ノルウェー。この中の、2位、3位は、初め日本と同じCゾーンにいたチームです。ノルウェーは、対中国戦でエースGKを速攻のノーマークシューターと激突し、故障というハプニングで失い、その後、このエースGKは出場出来ず。No.16のGKが、その穴を埋めました。このGKは背も高く横幅もあり、

一見、動きが鈍く感じましたが、反射神経も良く、ブライナルの対東ドイツ戦では、すべてのボールに反応して、ノーマークのシューターに対して前につめた時、四角のコーナーがすべて手であらって、大事な場面のシュートも見事キープ、今日の彼女は、立っているだけで、体の中からゴールを死守するという気持が、スタンドから見ている私たちにもわかりました。

なぜ、私がこのノルウェーのNo.16のGKが、一番印象に残ったかという点、エースGKを失い、「自分一人しかないんだ」という、苦しい立場を気迫で乗り越え、チームを盛り上げたところから、それは、今の私にとつての課題だからです。この大会は、毎日、毎日が勉強になり、このGKにならない、これからは自分がやっていくんだという気持ちでがんばっていきましょうと思います。

チエコ戦について

●池田由美

世界選手権の初戦はチェコスロバキアでした。今年の6月にスタルト・プラチスラバ、8月にゴッドワルドフというチエコのクラブチームが来日し、全日本をはじめ各実業団が親善試合を行なっていたので、チエコナショナルについては結構イメージがありました。チエコは、ソ連や東ドイツなどの

東欧の中では小柄で、それゆえにプレーが切れるチームです。左のデュリシノバを中心に、ステツプ、アンダーシューートを速いタイミングで打ってくるので、それに対応できるディフェンス構えと、オフフェンスでは粘りのある攻撃をする、ひいては帰りを速くし逆速攻に備える、という事が試合前のミーティングであげられました。

世界選手権に臨むにあたって、大崎電気で男子を相手にゲームをし、特に速い力のある攻撃に対するディフェンスを強化してきました。それが初戦から生かされていいたと思います。ゲームが始まり、すぐ2点取られましたが、速攻で追いつき、それからは実によく守れていたと思います。前半10-13で折り返し、後半に入ってからディフェンスの動きが鈍くなり、クイックシュートを許したり、フロターターのワンフェイントですらさられたり、結局ディフェンスから崩れ、17-25でした。

ゲームの反省として、ディフェンスでは「よみよみふみこみ」が出来ていましたが、最後まで続かなかった事（スタミナなど）があります。オフフェンスでは、ロングが壁を利用した変化したシュートが通用し、速攻では相手が大きいと守られている感覚があり、パスを切ってしまうことが多かったのですが、スピードのあるパスと強引な走りをする事でもっと速攻が出

服飾文化の発展とともに

三景グループは、企業の使命感と創造の精神を礎に、
不断の歩みを続けています。



株式会社 三景

代表取締役社長 北野 喜美夫

本社 千101 東京都千代田区岩本町3-4-12 TEL. (03)861-7161

たようです。

ホテルからバスで1時間揺られ、開会式もなく国歌を聴いてゲームが始まった世界選手権でしたが、次の日の大切な中国戦に結びつけることができた初戦だったと思います。

日本の速攻と世界の速攻

●近藤育子

「速攻」と言えば、昔は日本がうまくいったという事をよく聞きました。が、今はどの国でも変わりが無いと思います。

速攻の攻撃パターンとしては、日本の速攻ではクロス速攻が多く、また、世界の速攻では一発速攻が多いです。

日本国内の試合では、一発速攻でも、クロス速攻でも自由自在に使えるのですが、対外国となると上背があり、一発速攻を出しにくい面がかなりありました。

クロス、クロスで相手をかき回しながら押ししていくという速攻（クロス速攻）は、大きな外人には通用するプレーなのです。高さで負けている分、それに勝つためには、「速さ」で勝負するしかありません。そのため、この大会に向けての合宿でも「速攻」という部分にはかなり時間をかけて練習しました。

走るコース、切って行くタイミング、パスワークなどいろんな問題があり、とても悩みましたが、

やはり速攻でも何でもそうですが、ケース・バイ・ケースだと思えます。

速攻が出るという事は、積極的なつめをして、DFが良いからでGKとの連携でシュートコースも「かも」という事もあり、打たせて逆速攻をかけ、それによって自分たちの攻撃に余裕が出るし、何んと言っても相手に対する威圧がかなり大きいはずだと思います。逆にやられてしまつてはいけません。が……。

これからの速攻は、世界各国のチームが一発速攻だけでなく、クロス速攻もマスターし、速攻展開で素晴らしい光景が数多く見られる事と思います。

中国戦について

●前田重子

中国ナショナルチームとの試合は、一九八三年ロス五輪予選が最後で、それ以来全く見る機会がありませんでした。3年ぶりに見る中国は、防御・攻撃ともに函館の五輪予選の時より良くなつていました。防御は、1点差で逆転勝ちしたノルウェー戦では、大きな相手に対して、ディフェンスラインを高くしてボールへのつめが早く、ノルウェーがとまどつていられるうちに攻撃出来なくなつていました。

しかし日本に対しては、やはり私たちが小さいという事で、低いディフェンスラインで守つていたた

め、それ程激しい防御ではありませんでした。他の欧州のチームと比べると当たりが柔らかかったと思えます。

攻撃面の特徴は、速攻の速さと、ブロックプレーの上手さでした。速攻展開はあまり上手さはなく、ただ足の速さと強引なところが目立っていたので、ディフェンスの戻りの速さである程度防げたのですが、ブロックプレーに対するディフェンスが甘かったようです。しかし全体的に、全日本の防御のレベルが以前よりも上がつてきていると思います。

中国戦に限らず、守りで粘って相手に離されまいとする気持ちが出てくるようになってきたのだと思います。

こういう気持ちは、チームの状態が良くないと出てこないと思います。今までの全日本だと3、4点離されると凡ミスが続き自滅してしまう事が多かったのですが、ゴールキーパーの好守などから、粘りのある速攻で最後までなんとか行こうという気持ちで、ミスを少なくして、同点まで行けたのだと思います。

しかし、リードできる場面もあったのにミスが出てしまった事は、やはりこれからの課題になると思っています。

来年のソウル五輪の予選に向けて、希望の見た中国戦だったと思います。

ステップシューターとしての工夫

●野嶋ちえみ

世界選手権予選ラウンドのチュエコ戦から最終戦のフランス戦の計6試合をふり返り、外国の厚い壁にはとても悩まされ、特に背の低い日本はまともなジャンプシューターではディフェンスの手に合わせられ、たちうち出来ない事を知らされました。我チームのロングの得点も、やはりジャンプシューターよりもブラインドを利用したステップシューターが多く決まっていたようです。

自分がステップを打つうえで工夫した事は、高い壁をどちらかにずらして打つという事で、アンダーシュートのモーションで大きいディフェンスの手、または身体を一度下にしずませておいての上を打つねらい。また、ためて打つヨーロッパのシューターに対して、クイック的なステップシューターを打つという点です。しかし、これもノルウェー戦では幅のあるディフェンスにつぶされ、ゴールまで届くのがやつとで、この日のロングの得点は1点に終わってしまいました。

決定戦を一戦一戦行ない、この大会の締めくくりとして臨んだフランス戦。この試合も、前につめて来るディフェンスと大きなGKに悩みました。打っても打っても

adidas®



株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社

入らず、監督から何度も注意をうけ、どうして得点出来ないのかと……。

しかし、タイムアップの間際にその苦しんできたステップが決まった時は、とても嬉しかった。

最後に、この大会にラッキーにも出場出来た事、そしてトッププレイヤーたちのゲームが見れた事、とても勉強になりました。

ノルウェー戦について

●岩村英子

世界選手権Cグループ第3戦、ノルウェー戦は、18対33と15点差で敗れました。私たちの倍はある体格、このハンデイの中で戦うには、まず2番(前のチェコ戦であった)にマンツーマンディフェンスをひき、失点3点を何分守り切れるか(5分守り切れれば成功)。そしてこの大きく厚い壁にロングシュートがどれだけ通用するかポイントをおき、ゲームに臨みました。ゲーム開始5分までに失点3点と、まずディフェンスラインは成功したもののそれもそこまで。後は、スコア通りロングはもちろん、それからずらされポストへサイドへと終始ノルウェーペースでゲームは進行、日本もシュートの本数はノルウェー同様打つてくるもの、なかなか得点に結びつかず、8-20でハーフタイム。ロングシュートを打たれまいと接触したり、ポ

ストの前に何とか位置取りしようとして、逆に振り回されて警告を受ける始末。後半は、前半ほど打ち込まれてはいないが、やはり打たれるシュートが得点で、そうすると速攻はなかなか出せずに終わる。

高く大きな上に個々のフェイントがされる為、ずらされる部分が大きく、それに対応できるディフェンス力をもっと身につける必要があると痛感させられました。また、このゲームで通用したシュートは、やはり壁を利用してのステップやクイックシュートであり、その中からのポストサイドであったので、それらの部分をもっと確実に得点に結びつけられるようにし、以上のような反省点を今後の私たちの課題として、練習の部分で生かしていきたいと思えます。

ポストプレイヤーについて

●時実良枝

世界選手権で、ポストプレイが凄くて、印象に残った人がいなかったように思います。昔は、小柄なポストプレイヤーがディフェンスの間にカットインなんかするプレーが多かったのですが、最近は大形ポストプレイヤーが多く、中国のブロックプレイヤー、チェコ、ノルウェーの縦の2対2が多かったです。大柄なので、日本がディフェンスをしている場合、振り回され、警告、退場となって

しまいます。だからそんなに、動いていないのですが、体を生かしての位置取りがよいので、ポストによくボールが入ってました。シュートの方は、確率がやはり高く、GKをよく見てシュートしています。倒れこみ方が、ローリングして打つ方より、GKを見ながら正面から倒れ込んで打っていました。

日本のように、中継をするだけというプレーはなく、中継してもそこから自分がフェイントをしかりして、相手を生かすだけではなく、自分も生きるプレーが多かったと思えました。レベルが高く、1点を争う試合になってくると、なおさら、ポストプレイヤーが生きないと、フロッターへの負担が重く、試合展開が苦しくなってくるので、その所を、もう少し考えて、シュートの確実性、位置取りを徹底していきたいと思えました。

ポーランド戦について

●寺沢路子

世界選手権の予選リーグも終わり、次のいわゆる「なぐさめラウンド」の大会が9日から11日まで行なわれました。このなぐさめラウンドでは、13、14、15、16位が決まるのです。日本は、予選リーグを3敗1引き分けて終えたものの、このなぐさめラウンドでは、どうしても13位に入りたく、一つ一つの試合を大切に、また、気迫

を持ち、全員で勝ちに行こうと、ポーランド戦に臨んだ。

ポーランドとは日本は初めて、どのようなチームか、どの選手がエースなのかわからないまま試合に入り、日本は前半シュートミス、パスミスが多く、リズムになかなか乗れないまま5-13と差が開いてしまった。ポーランドの攻撃は15番がセンターからフェイントをかけ、後はずらしのパターンだけではあつたけれど、相手の身体が大きいので、1人を2人で見るとは、自分のディフェンスをしなくてはならないので、前にも遅れてしまった。

また、後半11-5で勝つたのだから、もっと前半から自たちのプレーを出せるよう、試合前のアップなど気をつけて行きたいです。体格でヨーロッパの選手たちに劣っている分、精神面でもっと充実したゲームが出来るように臨みたいものです。

世界のサイドプレイヤー

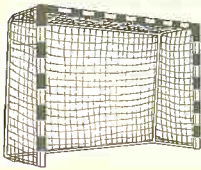
●井沢由美子

11年ぶりというこの大きな世界選手権に参加して、私は貴重な体験をする事が出来ました。

日本の戦った国や、その他の国の試合を見て、どの国にもプレーに特徴があるように、いろいろな試合展開や、一人一人の持ち味のプレーを見る事が出来ました。その中で、私はサイドプレイヤー

SANWA TAIKU 三和体育製販株式会社

〒332 埼玉県川口市緑町9番15号 川口 (0482) 56-2368(代)



検定合格品

- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| ゴールポスト | ●S-3423 | ¥180,000 | 木製 |
| | ●S-3430 | ¥410,000 | アルミ製 |
| ゴールネット | ●S-3426 | ¥32,000 | スーパーポリ |
| | ●S-3427 | ¥25,000 | ポリエステル |



ーについて書きたいと思います。まず一番印象深いのは、シュートです。シュートまでもって行った時の、空中での体の運び方、腕の使い方が素晴らしいと思いました。

そして、角度のない所からのシュートはいつでもゴールを狙っているという気迫が感じられました。フロッター選手の速い、サイドプレーヤーは、シュートの確率を考えるのですが、私が見たこの大会では、確率のよいシュートをしていたと思います。

サイドでのフェイント、カットイン、強引な突っ込みには、感動するものがありました。東洋系のハンドボールと西洋系のハンドボールは、少しづつ違うと思います。が、西洋系は、体格的に恵まれている面もあると思います。

ディフェンス面でも、45度を守っている人ぐらいいまでつめていたり、力強いディフェンスが見られました。

自分自身がサイドプレーヤーである事、そして、世界のサイドプレーヤーを目指して一日一日頑張らなければいけないと思いました。

フランス戦について

● 山岸和子

世界選手権大会最終戦は、14・15位決定戦対フランスでした。フランスにチームとは前にも何度か対戦し、引き分けているので、こ

の試合は何としても、勝ち取ろうと選手一同気迫を持って臨みました。フランスも同じ気持ちだと思います。

いよいよ試合開始。左ききのエースを中心に展開されるフランスからの攻撃。体格は日本と変わりはありますが、プレーはダイナミックでした。センタースリーから入り、右のディフェンスから崩し、エースで勝負という感じが多かったです。左ききのプレーヤーは、ロングシュートあり、フェイントありのプレーヤーなので、フランスの攻撃リズムを崩すため、ディフェンスシステムをいろいろ変えましたが、なかなか崩れませんでした。

日本も何度な得点のチャンスはあったのですが、大切な所でミスが続き、結局、7対9でフランスリードのまま前半終了。

後半に入り、両チームとも退場者を出しながらも、得点を決めたり決められたりしたシーソーゲーム、日本の攻撃も、前半よりロング、サイドシュートの本数が増し、チームのムードも一段と高まって来ました。後半中ばから、ベンチも興奮し始めました。でもフランスも集中しており、スキをねらって来ます。そんな時、いつもゴールキーパーは助けてくれました。最後の最後まで気が抜けない戦いとなり、守りに守ってやっとの思いで同点までできました。しかしこの

時もう時間がありません。残り20秒。日本の攻撃ですが、フランスも必死で守っています。ベンチはシュートコール。あと5秒。この時ゴンがステップシュートを打ちました。ピッピ。ゴールインしたのです。全員総立ち、逆転の勝利。皆、抱き合い、涙を流しながら喜び合いました。

GKとしてみた各国のエースたちのシュート力

● 葛生豊子

この大会で対戦したエースプレーヤーで、各チームに左ききのフロッターが目につきました。特に初めて予選リーグでノルウェーと戦いましたが、チーム全員が長身で幅もあり、フェイントの一步で2・3人のディフェンスがずらされ、高い打点からふりおろされるので、スピードもあり、男性的なシュートで、コースが読めずに終ってしまいました。

チェコ戦では、小柄ではありませんが、相手のディフェンスを利用して、ブラインドをつくシュート、また、クイックシュートでタイミングをずらされるケースが多く、左ききのプレーヤーに多く得点されました。

フランス戦では、ひとり全身はねのよう左ききの素晴らしい選手に出会いました。フェイント力があるどく、力強いシュートで小柄ですが、フリースローラインか

らロングを打って得点するすごい選手だと思いました。

中国戦では、チェコに感じが似ていて、早いテンポでクイックシュートが多くみられました。フォーメーションのような攻撃、速攻がすばやいと思いました。手首のかわしが早いと感じました。

アメリカ、ポーランド戦ではエースプレーヤーというよりだれもが同じようにプレーしてきて、力でシュートを打たれたケースが多かった。ディフェンスとコンビを合わせれば恐い攻撃ではないと思いました。しかし、打点の高さでふりきられる恐さは感じられました。

厚い壁に対してのシュートの工夫

● 小池宏子

外国とゲームをする時の共通の思いは、やはり外人は大きいということだと思います。大きいという言葉の中に背だけでなく、横幅や厚みのような感じを含めた方が、もっと正しくイメージを表現することが出来ると思います。今回の世界選手権で対戦した相手の中では、とにかくノルウェーがその大きいという言葉を使うにふさわしいチームであったと思います。その大きな壁の前にすると、ゴールが全然見えなくなる時があるほどで、壁の間から見えるゴールはとても遠く、小さく見えるような気がしま

各種記念品 バッチ・メダル・優勝カップ・楯 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品 } 製造販売

シマダ 記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3

〒173 FAX. 東京(03)973-0674

す。
このような壁に対し、その上からロングシュートを打つというこ
とは、まず不可能であるといっ
ていると思います。実際に入ったロ
ングシュートは、ブラインドをつ
いたものであるとか、身体をか
わして間を抜いたというシュートだ
った事を見ても、それはわかりま
す。自分の場合、ジャンプシュー
トが多くなるわけですが、長くた
めた時は自分ではずらしているつ
もりでも、相手の手の中でとんで
いたり、かわそうとしすぎるとバ
ランスがくずれ、シュートが弱く
あまくなり、たたき落される事が
多くなります。練習中にもよく言
われる事ですが、フォームを小さ
く、シャープに打つことを心がけ
シュートスピードを増し、ステッ
プシュートも打てるようになりた
いと思います。

大きな壁を前にすると、何も出
来なかった今大会を大切な思い出
の一つにして、次には、少しでも
今よりは何か出来るよう努力した
と思います。

アメリカ力戦について

●武藤夕起子

世界選手権13、16位決定戦の第
2戦目は、アメリカ戦でした。日
本は、攻守共に積極的にアメリカ
に攻め入り、今まで多かった凡ミ
スも減少し、14対8で前半を終え
ました。後半に入ってアメリカに

連取された場面もありましたが、
日本もすぐ取り返し、結局25対20
で勝ちました。

アメリカは、ロングシューター
が強力なチームなのですが、日本
のデイフェンスが粘って守ったた
めにミスが多くなってしまい、力
を出し切れずに終わってしまった
ようです。逆に、日本は前日のポ
ーランド戦で負けてしまったので、
心機一転して皆なで力を合わせて
やれたのが、勝利に結びついたの
だと思っています。特にデイフェンス
の部分では、今回の大会の中では
一番良く守っていたと思います。

アメリカとは、昨年4月のジャ
パンカップ、今年7月ソ連でのグ
ッドウィル大会に続いて3回目な
ので、比較的戦い易いチームなの
ですが、アメリカのポイントゲッ
ターで、ゲームメーカーの黒人の
サム・ジョーンズ選手が13、16位
の決定戦に来る前のゲームで、き
き腕である左手を骨折してしまっ
たため、日本とのゲームは出場出
来なかったのですが、もし出場し
ていたらまた違うゲーム展開だっ
たと思います。

オランダの印象

●山内香代

世界選手権開催地オランダは、
私にとつて初めての国でした。オ
ランダといつて連想したのは、な
んといつてもチューリップ、民族
衣装、そして風車でした。12月で

チューリップは見るのが出来ま
せんでしたが、球根が花壇いっぱ
いに植えられているのを見ました。
春になると、絵ハガキやパンフレ
ットで見られるような赤や黄色の
大きな美しい花を咲かせるのだろ
うと思います。朝は8時位からや
っと明るくなり始めて、夕方5時
位には暗くなります。太陽を見る
のがマレで、いつもどんよりと曇
っているため町全体が暗い雰囲気
ですがそれと反比例するように、
人々はとても陽気で親切です。

町のほとんどの家の窓辺には、
いろんな植物が置かれていて、チ
ューリップに限らず、草花を大切
にしているようです。動物も一緒
で町中では、犬をつれて散歩して
いる人を多く見かけました。本な
どで見たことはあったけど、あれ
ほど大きい風車を見たことがなか
ったので、驚きましたが、周囲の
草原と調和してとても素晴らしい
景色でした。

通訳の方をはじめ、いろんな
方々に笑顔で迎えていただき、大
変お世話になりました。
オランダは、世界選手権開催地
としての素晴らしい印象だけでは
なく、風景、自然が美しく、人々
の心の暖かい国だと感じています。

世界選手権を終えて

●小深田由紀子

残念ながら今回の遠征では、ピ
デオを撮る機会が多かったのです

が、世界選手権に日本代表として
参加し、感じた事をこのビデオと
いう方面からふれてみたいと思っ
ます。

世界選手権では、ほとんどの国
が、ビデオを撮影していました。
自分の国や対戦相手の試合はも
ちろん、その他には、自分の国と
は一味ちがったプレーをする国、
そして世界のハンドボール界のク
イーンズのプレーを学ぶために、各
国のビデオマンが目を光らせてテ
ープに納めていました。

自分たちの試合内容について反
省し、対戦相手のプレーをより早
く何度も研究出来るという訳で、
利用価値が非常に高いのです。
それからビデオ撮りで気づいた
事は、選手がビデオを撮っている
国が、ほとんどないという事です。
ビデオマンがいるというだけでは
なく、他の国には、通訳・トレー
ニングドクターなど専門分野の方
がいるのに、日本は兼任という形
なのです。

広い目で見た時に、必ず専門分
野の方が必要になると思いますし、
選手がプレーに徹し、チームが盛
り上がるためには、出来る事なら
ハンドボール以外の、通訳、ピデ
オマンなどはいれた方が良くと思
います。

高校生として初めて

●世界選手権に参加して

●林 智恵

私は、全日本チームのただ一人
の高校生として、初めて世界選手
権大会に参加した。国際試合で外
国を訪れたのはこれで4度目だが、
ヨーロッパは初めてで、オランダ
の広大な景色、大きな自然にはび
つくりした。まるで、本やテレビ
からそのまま飛び出してきた感じ
だった。
ヨーロッパの試合では、何もか
もが初めてで、驚きの連続だった
まず、試合の始まる時間が遅いこ
と。高校生はだいたい午前9時か
ら午後5時ぐらいだが、ここでの
チェコ戦、中国戦は、午後8時30
分だった。また、体格が日本とは
比較にならないこと。欧国は皆タ
テも横も大きく、私なんか小さい
くらいだった。そして、ハンドポ
ールの人気のすごいこと。どの会
場もたくさんの人でにぎわい、そ
してどの国にも、大きな拍手を送
っていたのが印象的だった。
私は、チェコ戦、ノルウェー戦
でそれぞれ2点得点することが出
来た。あのような大きい選手の上
から打つこと、そして、たった
1本でもシュートが決まったこと
はとてもうれしい。一生、私の心
に残るだろう。
このような素晴らしい大会に参
加することが出来、周囲の方々に
感謝するばかりです。本当にあり
がとうございました。この経験を
今後に生かしていきたいと思いま
す。

MIZUNO

THE WORLD OF SPORTS

80
SINCE 1906
ボクら、万有引力とたむじれる



パワー効率重視。コートのマシン〈ランバード〉

室内コート専用のマルチファンクションソール。

前後左右、あらゆる方向へのトラクション性にすぐれたヘリボーン意匠をベースに、かかとはに着地時の衝撃を吸収、分散するコンケーブ意匠を配置。また、ソール前半にはパワーロスを防ぐサイドモーションサポートリブ、回転運動の軸となるピボットリングをはじめ、屈曲性を高めるフレキシブルゾーンなどをレイアウト。多様なプレーに対応するソールパターンが生まれました。

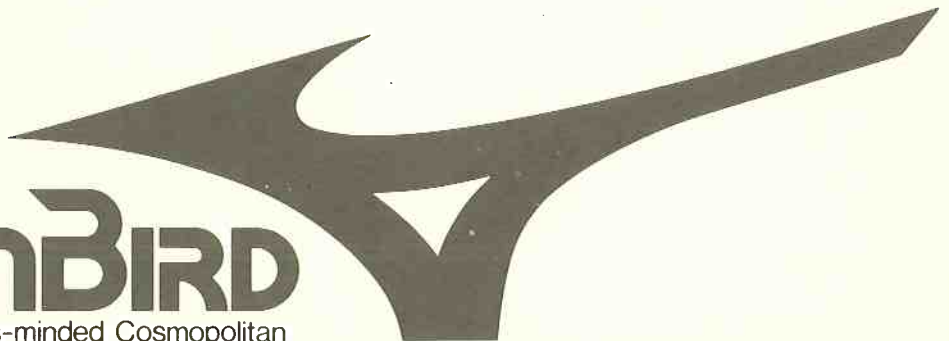
〈ランバード〉ハンドボールシューズ

《ウイング ショット》 ¥12,000

- 甲/牛革 ● 補強材/人工皮革 ● 底/ラバー・ハーフシェルソール
- カラー/16KH-1527 ホワイト・レッドにメタリックネイビーライン
- /16KH-1562 ホワイトにレッドライン

RUNBIRD

for The Sports-minded Cosmopolitan

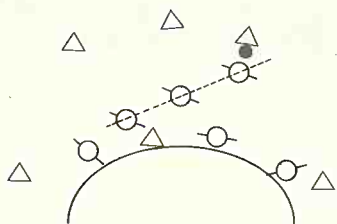
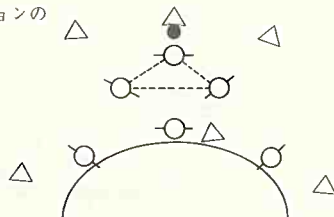
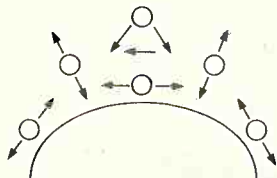


連載

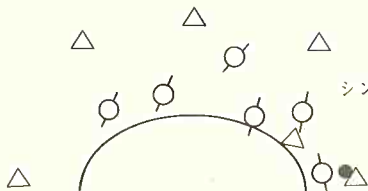
ユーゴスラビアで 学んだこと

③

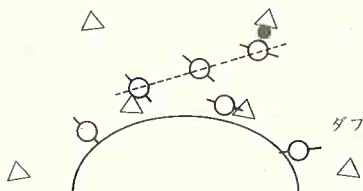
1-2-3 DFの各ポジションの
基本的な動き方



シングルポストの時のDFの動き方



ダブルポストの時のDFの動き方



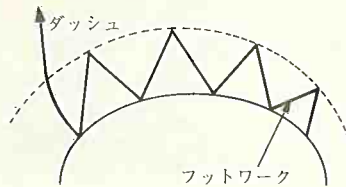
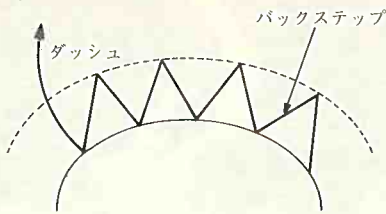
1-2-3ディフェンスは、攻撃的なディフェンスである。相手のチームの攻撃のリズムを狂わせると共に、ロングシュートに対してはかなり強い。45度ディフェンスが積極的に前へつめるので、つめた下のスペースがどうしても広がるが、そこはトップ、センター、逆45度がその空いたスペースをうまくカバーするような位置どりをし、ハンドアップをしながらポスト

1-2-3ディフェンスについて

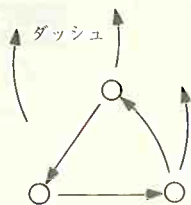
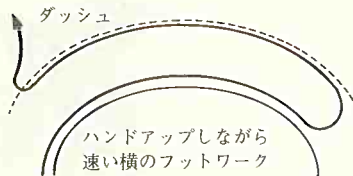
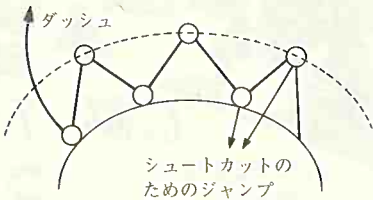
高村誠一

1-2-3ディフェンスは、攻
トへのパスをカットする。
このように、比較的中央からの
攻撃に強いこのディフェンスの弱
い点は、サイドである。サイドデ
ィフェンスは、広いスペースを守
らなければならぬので、相手の
攻撃の先読みをするなどの工夫が
必要である。
1-2-3ディフェンスで、特
に大切な事は、できるだけ早く
ファウルをして、相手のリズムで

- 攻撃されない事である。
1-2-3ディフェンスをやる
ためには、次の3つの事が必要だ
と思う。
- ① 良いGKがいる事（サイドシュートに強い）。
 - ② 全員が速いフットワークができる。
 - ③ 相手の攻撃の先読みができる。
- この3つの条件を満たした上で、全員が自分の役割をしっかりと果たし、組織的に動くことができれば、このディフェンスはうまくいくと思う。



•常にハンドアップをし、パスカットができるように手を動かす

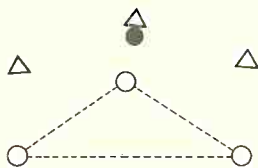


三角形のフットワークをしてダッシュ
(3人ができるだけ速く動く)

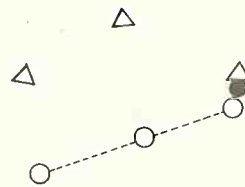


ボールに対して常に全員が正面を向く

◎真中3人の動き方



ボールが中央にある時は三角形を作る



ボールが45°にある時は一直線を作る

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込み
ください。



お支払いもいろいろ

●月々のお支払いがラクな
リボルビング払い

●手数料なしのおトクな
一回払い

●お求めはいま、お支払いは
ボーナス一括払い

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。



molten®



MTHJ 標準球
*天然皮革製球 500g



瞬間、
信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール
協会検定球 (J.H.A.)
●国際ハンドボール
連盟公認球 (I.H.F.)



株式会社 東洋モルテン
東京本社 東京都墨田区横川5-5-7 番130 ☎(03)625-7581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・サンフランシスコ

新製品

小学生用軽量ハンドボール



800m²の青春

ねばり強いディフェンス、そして鋭いシュート! 800 m²のコートにとび散る汗。ハンドボールは、頭脳と技の闘いだ。空間に舞う身体、全身がひとつになりVへのゴールにボールが躍る。ミカサのハンドボールは、優れた弾力性と強度、そして手に吸いつくような感触で全世界のプレーヤーから絶賛を浴びています。勝利を目指す人の、ミカサのハンドボール。



重量265g
検定球
¥3,300



MGH3

★
MIKASA®

本社/〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 ☎(082)237-5145代
営業所/東京・大阪・名古屋・広島・福岡

滞同審判員として インテラムニア・カップに参加して

福田英明

5月に国際審判バネルAに合格をし、初めて「インテラムニアカップ」大会出場の日本ジュニア女子チームの滞同審判員として松尾氏と二人でイタリアのテラモまで7月上旬、11日間の行程に同行をした。私自身海外での吹笛は、全日本学生選手団の一員として韓国で5試合の経験があり、またこの「インテラムニアカップ」は、前々年関西の光島、狩野先生方が吹笛の経験をお持ちなので色々助言をいただいたので、多少なりとも安心をして出発することが出来た。

ローマから3時間半のバスでアドレア海に近い人口6万の都市テラモのミケランゼロホテルに投宿。目前にGRANASSASSOが雪をいただし、風光明媚で物静な町並みである。松尾君のバックがローマに着かず、ユニホームが無いので、レフェリングは駄目かも、これは大会見物のみと喜んだが、日本航空ローマ支店の山田氏の御尽力で明朝ホテルに着き、無事レフェリングが出来ようになった。明朝光島先生に聞いていた地図を頼りに大会本部に出かけたが、まったく目的地に着くことが出来ず、警察官にたずねてもはつきりせず、

あちらこちら迷った末町を歩いた若者が車で送ってくれた。目的の場所をはるかにオーバーラップした所まで来ていたのである。早速受付で日本の審判員であるがモンテニウカアントニオ氏に逢いたいと申し出るが、話は全然通じず、自分の語学力の弱さを嘆くのみ、午後訪れることを約束し力無くホテルに引き上げた。再度総務の田川氏に同行をお願いし、色々なスケジュールを知ることが出来たが、我々にとって大切なレフェリーミーティングは、本日の午後9時よりBANCO、NAPOLIの3階で行なわれるとのこと、また、会場をさがすのに苦労するからと明るい間に確かめておいた。定刻田川氏に御同行を願って会場に行くが、ミーティングには通訳は許可しないとのこと、ガツカリすると同時に不安な気持一杯で着席。前方の席にノルウェーのカー

ル・E・ワンの顔が見えたので理解できない時は彼に聞けばよしと心構える。イタリア語に始まりフランス語、英語と通訳をしてくれるが、結局ほとんど理解出来ず、審判員は毎朝7時30分ホテルGRANASSASSOに集合のみ判明した。しかし、各自に配布された

カードに記入しなければならず、困っていると隣りに座っていたイタリアの審判員が英語で説明してくれたので、何とか記入し、カー

ル・E・ワンに見てもらって提出することが出来た。まったくもって心細いかりだ。

翌朝GRANASSASSOに行くと、ゲームナンバー、時刻、会場が記入されたカードが手渡され、見ると連続吹笛で、午前2試合、午後3試合だ。今まで一日にこれだけの吹笛の経験がないから驚くばかりだ。バスで会場迄送ってく

れゲーム開始20分頃到着、会場には選手のみ、オフィシャルはやつと5分前に来てストップウォッチは持っていない。少々頭に来るが、第1試合は無事終了。第2試合中に位置取りが悪かったのが、ベルギーのゴールキーパーとアクシデント両手首捻坐に見舞われる。非常に熱い、温度34℃だ。しかし湿度が低いのが救いだが、ウォームアップから2時間走り続けの計算になる。午後はCAMPOR 8に行つてバスに乗らなくてはならず、タクシーで出発。アスファルトで舗装された広場にコートが一面、排水のため斜めになった会場だ。ゲーム中自動車やモーターバ

イクが入る。そのたびにゲームを中断、陽気な大会だ。帰りは徒歩で30分最後のホテルの坂道が疲れた体にむち打つようだ。

次の日は、午前中3試合のカードを買ったので、二人で大喜び、昼食は選手団と一緒に日本のゲーム見物を思い、仕度を始めると、呼出があり、2試合吹笛カードを見せられバスで27km離れた会場へ。何処の会場でもボーイスカウトの若者がオフィシャルでストップウォッチ1個のみ。一日平均5試合だと覚悟をしほとんど通じない言葉をジェスチャーでカバーして会場をさがし、国内のような頼になるオフィシャルだとらくだろうと思いつつ明日に向つて備える。

日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラミムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

各地の記録から……

東北

第36回青森県高校秋季選手権

(11月15、16日/野辺地町立体育館、野辺地高校体育館)

青森商	3位決定戦	42		3	三本木
青森南	3回戦	37		2	三本木
野辺地	1回戦	14		8	青森商
青森西	準決勝	36		1	今別
青森東	1回戦	10		7	青森中央
青森南	1回戦	13		9	青森中央
(女子)					
青森商20	決勝	91		11	13野辺地
		8		5	
野辺地	決勝	21		21	青森
		9		8	野辺地横濱分校
青森商	準決勝	16		28	柏木農
		25		28	三本木
野辺地	準決勝	28		25	青森南
		13		15	青森南
野辺地	準決勝	25		21	三本木
		11		11	青森南
野辺地	準決勝	28		25	三本木
		14		21	青森山田
野辺地	準決勝	34		37	鱒ヶ沢
		12		15	青森東
野辺地	準決勝	37		33	五所川原
		20		14	弘前南
十和田工	1回戦	33		11	弘前南
		14		11	今別

第30回岩手県高校新人大会

(11月15、17日/花巻北高、花巻農高)

決勝
青森西25
1213 | 810
18野辺地

花巻北	2回戦	17		3	盛岡南
黒沢尻南	1回戦	13		4	盛岡南
(女子)					
盛岡四20	決勝	1010		712	19盛岡一
		21		21	官花
盛岡一	準決勝	21		13	盛岡古
		10		13	
盛岡一	準決勝	21		13	盛岡古
		13		12	生活学園
宮古	準決勝	27		20	盛岡南
		16		14	盛岡南
花巻北	3回戦	25		17	盛岡南
		30		6	岩手南
大迫	1回戦	27		25	福岡慈
		16		21	久慈農
宮古	1回戦	27		25	久慈農
		16		21	福岡慈
生活学園	1回戦	17		31	一盛岡
		9		17	盛岡一
盛岡南	2回戦	24		12	水関工
		13		0	
福岡	1回戦	24		12	水関工
		13		0	

三重県高校秋季選手権

(11月16、23、24日/四日市市体育館ほか)

東海

津工	3回戦	16		27	桑名西
		13		10	四日市西
四日市東	3回戦	16		25	津工
		8		7	桑名工
四日市南	1回戦	24		16	桑名工
		13		8	四日市東
海星	1回戦	16		28	尾鷲
		7		7	日生第一
高田	1回戦	28		16	尾鷲
		7		7	日生第一
桑名西	1回戦	16		16	尾鷲
		7		7	日生第一
津東	1回戦	16		16	尾鷲
		7			

石川県協会会長杯争奪戦

(10月26日、11月2日/北国銀行体育館)

北信越

金沢市役所	1回戦	15		10	小松クB
(女子)					
津東	3位決定戦	25		13	6津東
		13		12	四日市南
津東	3位決定戦	16		14	四日市南
		11		3	四日市南
津東	3位決定戦	14		20	四日市南
		3		4	四日市南
津東	3位決定戦	32		19	桑名
		11		8	桑名
津東	3位決定戦	17		33	四日市西
		5		8	四日市西
津東	3位決定戦	37		19	津西
		4		16	松阪
津東	3位決定戦	15		30	尾鷲
		9		8	尾鷲
津東	3位決定戦	12		30	尾鷲
		11		3	尾鷲
津東	3位決定戦	12		30	尾鷲
		9		11	尾鷲

石川県高校新人大会

(11月13日/16日/金沢市総合体育館)

小松クA 2228 | 1917
18小松クA
県工ク

小松クA	準決勝	34		25	泉工
		18		10	錦丘
小松クA	準決勝	30		28	泉工
		15		12	泉工
小松クA	準決勝	28		40	泉工
		14		7	泉工
小松クA	準決勝	28		25	泉工
		8		14	泉工
小松クA	準決勝	22		25	泉工
		20		14	泉工
小松クA	準決勝	50		36	泉工
		8		18	泉工
小松クA	準決勝	32		44	泉工
		9		9	泉工
小松クA	準決勝	28		28	泉工
		10		10	泉工
小松クA	準決勝	40		27	泉工
		9		22	泉工
小松クA	準決勝	22		28	泉工
		6		11	泉工
小松クA	準決勝	21		28	泉工
		7		11	泉工

筑波大 23	慶大 22	早大 30	日体大 26	筑波大 24	中大 23	日体大 25	法大 25	早大 28	国士大 30	日体大 25	早大 31	日大 26	法大 25	国士大 25	日大 28	法大 23	早大 32	日体大 20	早大 27	日大 25
1310 105	157 1010	1911 1111	1214 1312	1311 128	1211 89	1411 610	1213 910	1513 910	1713 1215	1312 1114	1615 99	1511 1213	169 1011	1213 911	1612 910	149 129	1814 115	164 108	1611 1310	1510 911
15中	20法	22日	25国士大	20法	17慶	16慶	19日	19筑波大	27中	25筑波大	18慶	25中	21国士大	20筑波大	19慶	21日体大	16中	18中	23法	20筑波大

日体大 31	東女体大 34	筑波大 29	日体大 32	東女体大 39	筑波大 43	日体大 26	筑波大 30	東女体大 34	日体大 22	▼女子1部 (9月20日) 10月25日 勝4敗1分) ⑧慶応大(1勝6敗) 大(3勝4敗) ⑦日本体育大(2勝4敗1分)											
1615 46	1915 1010	1217 82	1715 511	1821 41	2122 76	1313 812	1416 25	1816 46	1012 88	1113 1011	1611 914	1910 910	1217 98	1514 1512	1215 129	21国士大	23日体大	19法	17慶	27国士大	21日体大
10東海大	20東学大	10日女体大	16東海大	5東海大	13東学大	20日女体大	7東学大	10東海大	16日女体大	21国士大	23日体大	19法	17慶	27国士大	21日体大	21国士大	23日体大	19法	17慶	27国士大	21日体大

東女体大 26	日体大 31	日女体大 17	筑波大 24	日体大 21	日女体大 22	東女体大 32	日女体大 23	筑波大 19	東女体大 27	日女体大 23	筑波大 24	日体大 19	東女体大 30	東海大 19	筑波大 23	東女体大 34	東学大 20	東女体大 38	筑波大 22
1115 711	1912 109	710 97	1014 107	912 44	1111 49	1715 107	914 54	811 24	1710 911	1211 87	1311 42	910 117	1614 76	118 43	1013 312	1717 65	119 84	1721 58	1715 710
18筑波大	19東学大	16東海大	17東女体大	8東学大	13東海大	17日体大	9東学大	6東海大	20日体大	15東学大	6東海大	18筑波大	13日女体大	7東学大	15日体大	11日女体大	12東海大	13東学大	17日女体大

中京大 24	愛学大 21	愛学大 32	愛学大 39	中部大 35	中京大 26	中部大 33	愛学大 28	中部大 35	中京大 38	愛学大 21	中部大 31	中京大 41	中京大 27	名学大 29	▼男子1部 東海学生秋季リーグ				
1212 1010	129 713	1814 1318	2217 1414	1718 810	1511 98	1914 95	1810 1212	1718 1313	2117 109	1110 710	1516 1311	2021 128	1611 79	1613 1612	28名城大	28名城大	16愛教大	20名学大	20名学大
20中部大	20名城大	31名学大	28名学大	18愛教大	17名城大	14名城大	24愛教大	26名学大	19愛学大	17名学大	24愛学大	20名学大	16愛教大	28名城大	28名城大	16愛教大	20名学大	20名学大	20名学大

中京大 21	愛学大 35	中京大 27	中京大 21	愛学大 28	中京大 37	中京大 16	中京大 26	愛学大 28	中京大 23	中京大 40	中京大 32	愛学大 24	中京大 24	▼女子1部 ⑥名城大(5敗) ⑤名古屋学院大(1勝4敗)						
1110 95	1215 56	1817 62	1011 1010	1522 41	97 75	1610 105	1315 53	1211 106	2416 70	1616 32	1311 105	15中京大	12愛教大	5三重大	20中京大	8三重大	16愛教大	7三重大	5三重大	15中京大
14愛教大	11三重大	8三重大	20中京大	5三重大	12愛教大	15中京大	8三重大	16愛教大	7三重大	5三重大	15中京大	12愛教大	5三重大	20中京大	8三重大	16愛教大	7三重大	5三重大	15中京大	



高度なスカイプレーが变幻自在。

スカイハンド スペシャル (TTH705)

●カラー ホワイト×レッド×ホワイロイヤルブルー×ホワイ

●サイズ 22.5-28.0cm

●アッパー ステア表革(ホワイト×レッド)

牛革ペロア(レッド×ホワイト)ロイヤルブルー×ホワイ

標準小売価格 ¥13,000



ストップ&ジャン性能を徹底追求したシューズ「スカイハンドスペシャル」。
つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジEVAを内蔵
したカッソールが、素晴らしい軽さ、ソフトな着地感、ストップ性を獲得しま
した。アクロバチックなスカイプレーを繰り広げながら、ヒッチコックの「鳥」
のような圧倒的迫力でゴールを襲うハンドボールラーに捧げます。

襲撃!

スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。

 **新日本製鐵**



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第二五九号

昭和四十年六月七
第三種郵便物認可

昭和六十一年一月二十五日 印刷
昭和六十一年二月一日 発行

東京都渋谷
電話 代表

六三三三六
六三三三八番

編集兼
発行人

大野金一

定価三百五拾円
(年間購読料
三千三百円)